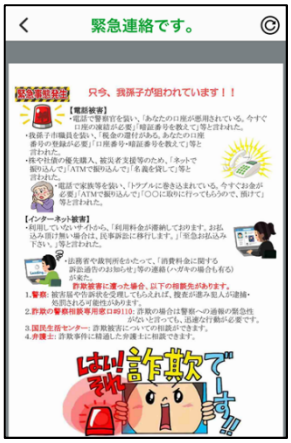
電子回覧板を活用されている自治会のご紹介

昨今、高齢化による自治会の担い手不足が全国的に課題となっておりますが、特に負担が大きいと言われる回覧板業務をデジタル化し、自治会の活性化と、役員の負担軽減を図る仕組みとして、電子回覧板があります。今回は、実際に活用されている、**つくし野南自治会**の活動をご紹介いたします。

実際の月報画面

① 電子回覧板を導入したきっかけ！

回覧板を出した直後に、また回覧物が届くことがあり、何か良い方法がないかと模索する中で、隣の自治会で役員の連絡手段として活用していたアプリを紹介してもらったのがきっかけです。



注意喚起を目的に載せたチラシ

② 電子回覧板の活用方法

毎月 15 日を目安に「月次報告」を電子回覧板に掲載しています。また「警察だより」「健康に関する啓蒙」「工事のお知せ」等を住民へ知らせる手段として、電子回覧板を活用しています。しかし、電子回覧板を活用できるのは一部の住民にとどまるため、従来の紙でも回覧は回しています。

③ 電子回覧板を始めて良かった点

1. 無料で使えるアプリで操作も簡単！ 回覧の作成は、わずか３つの操作で OK！
   ①スマホ（タブレット）のカメラで回覧資料を撮影。
   ②公開日、終了日を設定。
   ③「回覧物の送信」ボタンを押したら作業完了。
2. 月次報告や啓蒙のポスター等の書類は、通数に制限なく掲載できる。
3. 市役所等のホームページとリンクを貼るだけで、簡単に連携することができる。
4. 従来の紙による回覧が回る前に、いち早く新しい情報を知らせることができる。
5. 読み手は、必要な情報だけを見ることができ、何度も見返すことができる。
6. 遠方の親族が、実家周辺の情報を自宅に居ながらにして知ることができる。

今回は、つくし野南自治会長の六倉様に、自治会の現状や電子回覧板を始めたきっかけ、活用してからの住民の反応、デメリット等について伺いました。

このアプリは、メリットも多くありますが、閲覧している実人数の確認ができないところがデメリットとのこと。（一人の方が複数回閲覧すると「１」でカウントされてしまうため）

また、閲覧するための機器（スマホ、タブレット、パソコン等）をお持ちでない方もおり、閲覧数が伸びないのも悩みだとのことです。しかし、六倉会長は、「使える方が少しでも便利に使ってくれれば情報を載せる甲斐がある」とも話してくださいました。今回ご紹介した電子回覧版以外にも、回覧板機能を備えたアプリはあります。ご自身の地域に合ったアプリを探して活用してはいかがでしょうか。

今回ご紹介した電子回覧板は、株式会社クレアンスメアード　https://www.creansmaerd.co.jp/ から情報引用

問合せ：我孫子市社会福祉協議会（西部福祉センター）　担当：山﨑里子　電話：０４－７１８５－５８１８

自治会活動に ChatGpt などの AI ツールを活用してみませんか！！

昨今、ChatGpt や AI 等の言葉をよく耳にしますが、自治会活動に AI ツールを活用して高齢化や人手不足等の地域課題を解決してみるのはいかがでしょうか。

１．情報の共有・伝達の効率化に活用

現状の課題…（例）紙の回覧板は配布等の手間がかかり、情報が届くまでに時間がかかる等の課題があります。

AI を活用… ①自動要約機能を活用して、長文のお知らせを AI が自動で要約し、要点を簡潔に伝えることができ、読み手の負担を軽減することができます。

②多言語対応の機能を活用して、外国籍の住民向けて、AI が自動で多言語に翻訳し、必要な情報を必要な方に届けることができます。

例）ゴミ出しルールを多言語で掲示してゴミ出し問題を解決！

２．住民意見の収集・分析と活動への反映（イベント企画・運営の最適化）

現状の課題…（例）イベントの企画や準備に時間はかかるが、参加者が思ったより集まらない。

AI を活用…過去の参加者数、アンケート結果などを AI が分析し、最適な日時、場所、内容、必要な準備物などを提案してくれます。
より多くの住民が参加しやすいイベントの企画を支援してくれます。

３．運営業務の効率化（議事録作成支援）

現状の課題…（例）会議の議事録作成などは手間がかかり、担当者の大きな負担になっている。

AI を活用…文字起こしツールを活用して、会議中の音声を AI が自動でテキストに変換してくれます。無料で使えるものから高機能な有料のツールまであります

（例１）Google ドキュメントの音声入力機能

（例２）Microsoft Word のディクテーション機能

※キーボードを使わずに、話した内容が自動的にテキストとして表示されます。また、会話の文脈を判断して、自動的に句読点（句点、読点など）を挿入してくれます。

（例３）専門の文字起こしツール…「Notta」や「CLOVE Note」など、会議の文字起こしに特化したサービスもあります。

文字起こしをした内容を ChatGpt に貼り付け、「会議の議事録を作成してください。決定事項、議題、発言者を明確にまとめてください。」といった指示を出すことで、短時間で議事録を作成することができます。この他にも、掲示物の作成やアンケート作成・集計等にも活用できます。お試しください。

問合せ：我孫子市社会福祉協議会　担当：山﨑　里子　電話：０４－７１８４－１５３９

LINE を活用して自治会活動をもっと身近に！！

自治会活動のお知らせが届きにくかったり、「大事なお知らせを見逃した」「イベント参加の確認や準備が面倒に感じる」そんな経験はありませんか？
『デジ町会』は、LINE を活用して手軽に効率よく自治会活動ができる新しい仕組みです。

主な機能 ！

- **お知らせ配信**…紙の回覧板なしで、LINE で一斉通知ができ、既読確認もできて心強い！
- **イベント案内・参加確認**…大切な行事やイベント（清掃活動、防災訓練、祭りなど）の通知を LINE で届けることができ、また、参加者の集計もできます。急な行事の変更も、すぐに通知ができて安心です。
- **相談窓口**…ごみ出しや防災など、ちょっとした質問も LINE で気軽に相談！
- **緊急連絡**…地域の防犯情報や防災情報を LINE でリアルタイムに配信！

導入の効果

- **導入率・利用率の向上**…専用アプリをインストールする必要がなく、LINE の友だち登録だけで簡単に利用できます。
- **住民参加率の向上**…自治会の活動情報が住民全体により早く、より身近になり、地域のつながりにも効果的です。
- **業務負担の軽減**…よくある質問は、自動回答もできます。
  例）「ゴミ出し」→ 収集日を自動送信。

デジ町会 利用料の目安（2025 年９月時点）引用：デジ町会ホームページ　https://chonaikai-line.jp

プラン名		①ベーシック	②スタンダード	③フルパッケージ
基本パック（契約世帯数 100 世帯分込み）	初期費用	30,000 円	100,000 円	
	年間利用料	30,000 円／年	40,000 円／年	60,000 円／年
追加 100 世帯毎		（無制限）	10,000 円／年	40,000 円／年

※①ベーシックプランは、100 世帯毎の追加料金不要。（世帯内で何名でも「友達登録」できます。）

プラン毎に使える機能

機　能　名	①ベーシック	②スタンダード	③フルパッケージ
デジ町防災 LINE	●	●	●
デジタル回覧板	●	●	●
世帯名簿管理	―	●	●※1
その他機能	―	―	●※2

※1　世帯名簿の管理…会費納入後などの確認時に便利な機能もあり、二重払いなどのミス防止ができます。

※2　**その他機能**…キャッシュレス決済などの便利な機能が利用できます。

LINE は世代を問わず多くの人が日常的に使う便利なツールです。
その LINE を活用して、自治会運営の負担を軽くし、住民参加をさらに広げていきませんか？

問合せ：我孫子市社会福祉協議会　担当：山﨑　里子　電話：０４－７１８４－１５３９

自治会でできる 災害備蓄の「管理」から「運用」へ

～ いざという時に本当に動ける備えを ～

災害時、自治会の備蓄品は単なる「物資」ではなく、避難所の立ち上げや初動判断を支える“共通の資源”です。何が、どこに、どれだけあり、誰が使えるのか…
それが共有されているかどうかで、初動対応の質は大きく変わります。

① 初動対応に必要な情報は共有されていますか？

【 A 】人・判断に関わる情報

- ☐ 自治会災害時対応マニュアル、役割分担表がある
- ☐ 自治会内の地図がある（被災状況取りまとめ用）

【 B 】物資の“把握”に関する情報

- ☐ 備蓄品の内容を把握できる台帳や一覧表がある

令和６年能登半島地震
令和６年５月撮影　穴水町

② 備蓄品は「使える状態で」保管されていますか？

- ☐ 備蓄品台帳が最新の内容になっている
- ☐ 数量・保管場所・期限が分かるように管理されている
- ☐ 防災訓練や自治会行事と一緒に定期的に点検している
- ☐ 賞味期限・機器類（発電機など）の作動確認をしている

③ 災害を想定した「使用・運用の確認」をしていますか？

【 A 】複数人で対応できる体制になっていますか？

- ☐ 備蓄品ごとに「主な担当者（責任者）」が決まっている
- ☐ もしもの時「担当者がいなくても動ける体制」になっている

【 B 】備蓄品の取り出し、設置の流れを確認していますか？

- ☐ 備蓄品の保管場所・鍵の所在を複数人が把握している
- ☐ 実際に備蓄品を取り出し、使える状態にするまでの作業を行ったことがある

【 C 】人手・時間の想定ができていますか？

- ☐ 設置や準備に必要な人数を把握している
- ☐ 想定以上に時間がかかる作業を確認できている

▶ **夜間・高齢者中心でも対応できるか、がポイントです。**

【 D 】配布・使用時の混乱を想定していますか？

- ☐ 食料や物資の配布方法を話し合っている
- ☐ 誰に、どの順で渡すかを想定したことがある

【 E 】訓練の振り返りが出来ていますか？

- ☐ 訓練後に「困った点・改善点」を共有している
- ☐ 次回に向けて見直しを行っている

令和６年９月撮影　穴水町
震災後、９カ月経っても当時のまま

防災対策は、一度整えれば終わりではありません。
役員交代や地域の状況に合わせて、「今の体制で本当に動けるか」を確認し続けることが大切です。
小さな点検や訓練の積み重ねが、自治会の防災力を高めていきます。
ぜひ、防災訓練や役員会の中で、「今の体制で本当に動けるか」を話題にしてみてください。

問合せ：　我孫子市社会福祉協議会 担当：山﨑　04-7184-1539